

2022 年度第1回 一般社団法人日本箱庭療法学会研修会のお知らせ

主催：一般社団法人日本箱庭療法学会

日 時： 2022 年 7 月 17 日（日）10：00～16：00（受付 9：30～）

会 場： 京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺粟田町 93）

ご挨拶

臨床の現場で日々、さまざまな問題に向かい合っておられる皆さま、いろいろな困難がありながらも、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

コロナ禍の中、昨年度の全国研修会はそれぞれ、京都リサーチパークと A P 品川において、オンラインも併用する形で開催することができました。

そして、2022 年度第 1 回の全国研修会につきましても、引き続きオンサイト参加とオンライン参加の混合で、開催させていただきます。

全体会では、長年、学生相談に関わっておられます甲南大学の高石恭子先生にご登壇いただきます。コロナ禍のなか、学生相談はオンラインでの心理相談をもっとも早く導入された現場でもあります。そのなかで積み上げておられる知見からのお話は、オンラインでの心理相談と、対面での心理相談の違いやそこで見えてきた課題など、私たちの臨床のこれからに直結する問題を示していただけることと思います。

後半では、6 つの分科会を設けております。事例を募集している分科会もございますので、どうぞ奮ってご応募下さい。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2022 年 5 月吉日

一般社団法人日本箱庭療法学会 研修委員長 岩宮恵子

<開催要領>

1. 定 員：250 名（オンサイト／オンライン）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場に来場いただく「オンサイト」参加と、ZOOM を使用して視聴していただく「オンライン」参加の選択可能な混合開催となります。なお、今後の感染状況等に応じて、開催方法など変更の可能性がありますことご了承ください。

2. 参加資格：心理臨床の事例に関して守秘義務を負うる、以下の条件のいずれかを満たす方とします。

- ①一般社団法人日本箱庭療法学会会員
- ②箱庭療法を導入・または導入を検討中の児童相談所・児童養護施設等の心理職に従事されている方
- ③臨床心理学およびその関連領域で心理臨床の実践的な仕事に従事されている方
- ④心理臨床を専攻する大学院生

3. 参加費：学会員：4,000 円 非会員：7,000 円 大学院生（非会員）：5,000 円

4. 研修ポイント：本研修会への参加は、臨床心理士教育・研修規程別項第 2 条（3）により、一般参加者は 2 ポイント、事例呈示者は 4 ポイント取得となります。

5. 研修内容：

(1) 全体会：10：00～12：00

テーマ：「学生相談におけるコロナ禍の面接経験から—遠隔相談とイメージ体験をめぐって—」

講師：高石恭子 氏（甲南大学）

概要：

2020年春に到来したコロナ禍は、クライアントとセラピストが「同じ場を共有する」という心理臨床面接の大前提を揺るがし、私たちのアイデンティティを脅かしました。一方で、高等教育における学生相談は、緊急に整備された遠隔授業実施のインフラを用いて早くから遠隔相談の導入を進め、その経験を蓄積してきています。

とくにビデオ通話システムを介した相談面接において、イメージはどのように体験され、また表現されるのでしょうか。その可能性と限界について、考えてみたいと思います。

(2) 分科会：13：00～16：00

以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

事例呈示を募集している分科会は、概要の最後に<事例募集>の表記のある分科会です。事例呈示希望者は、「6. 参加・発表申込について」をご参照の上、お申し込みください。

● 第1分科会 高石恭子（甲南大学）

『コロナ禍の学生相談事例に学ぶ』

学生相談は高等教育の一環として人間形成教育を担う幅広い活動ですが、その中には、心理療法的な、個別あるいは少人数のクライアントとの密な面接室内での関わりも含んでいます。本分科会では、コロナ禍の学生相談において、そのような相談面接がどのように影響を受け、また対応に取り組む過程でどのようなコロナ後への可能性を見出したか、参加者のみなさまと一緒に考えてみたいと思います。

対面、遠隔、ハイブリッド、いずれの形態をとられたものでも構いませんので、学生相談の事例を募集いたします。イメージ表現技法の導入（夢、描画、箱庭など）の有無は問いません。

<事例募集>

● 第2分科会 岩宮恵子（島根大学）

『対人不安と対人希求 —治療関係の布置と風景構成法から開かれるもの—』

強い対人不安がベースにあるクライアントとの治療関係は、セラピストに対する不安をどうしたら軽減することができるのかが治療開始時の重要なポイントになることも多い。そのためセラピストがある程度の自己開示をすることもそこでは必要になることもある。

しかし、そのようなテクニカルなレベルを越えて、クライアントとの間に何か布置されていたとしか言えないような偶然の結びつきが明らかになることがある。今回の事例では、セラピストとクライアントの間に、不思議な接点の存在が明らかになったことが治療同盟を早期に形成することに大きく寄与している。そして風景構成法の導入によって治療場面は、クライアントが強い不安の裏側で抱いていた対人希求のありようと他者へのアグレッションを語る場へと開かれていく。

この治療プロセスのなかで、何が布置され、何が起こっていたのかをフロアのみなさんと考えていきたい。事例提供者：西嶋雅樹氏

● 第3分科会 河合俊雄（京都大学人と社会の未来研究院）

『思春期の心理療法における直接性とイメージの次元』

思春期においては、子どものプレイセラピーでのような素直なイメージの表現がむずかしくなると同時に、大人のような表現力も身につけていず、心理療法におけるチャンネルを見つけるのがむずかしいことも多い。その際に、直接的な交流が必要になることもある。思春期の心理療法における直接性とイメージの次元の関係について検討したい。

事例提供者：清水亜紀子氏

● 第4分科会 川崎克哲（学習院大学）

『<治療者>としての新型コロナウイルス』

（新型コロナなどの）ウイルスによる感染には<治療的>な側面があると考えられます。これは、マクロ的な観点からは、人類史の文明に対して様々なパンデミックがそのあり方の変容を促進したこと（たとえばルネッサンスの誕生）や、あるいはミクロ的な観点からは、ウイルスによって遺伝子の水平移動が生じ、生物の種

を超えて有益な変異がもたらされることなどによって示されます。またなにより、サイコロジカルな観点からもウイルスによる感染(イメージ)は、今述べたマクロ的、ミクロ的なウイルスの治療的な意味と同型であり、真に治療的な意味をもっていることはもちろん、それは(特に深層心理学派の)心理療法の本質と関わっています。

本分科会では、上記のことを概説した上で、実際の事例を検討していくなかで吟味・展開していけたらと考えています(事例発表を募集いたします。ウイルスや細菌などによる感染の夢や箱庭、イメージ、あるいはそのような感染に関する不安を主訴とする事例が望ましい)

<事例募集>

● 第5分科会 桑原知子(放送大学)

『心理療法の中で、人はいかに箱庭と『出会う』のか』

クライアントはどんな時に作ろうと思うのか、逆に作ろうとしないのか、あるいは、セラピストは心理療法の中でいかに箱庭を導入したり、事例に生かしたりするのか、そして、作られた箱庭とどう向き合うのか、など、箱庭と人との「出会い」について考えてみたい。

当日は、「出会い」の諸相を考えてみるとともに、事例のなかで、さらにこのテーマを深めたい。

事例提供者：榊蔵美智子氏

● 第6分科会 松下姫歌(京都大学大学院教育学研究科)

『心理療法における「死」のイメージ』

心理療法においてはさまざまな次元で「死」のイメージが表現される。クライアントが希死念慮を訴える場合。家族の死を願う場合。他者への殺意を仄めかす場合。それらが行動として企てられる場合。こうした、自他の「死」の希求として「死」のイメージが表現される場合もあれば、箱庭やプレイ、夢やファンタジーにおいて、「死」のイメージが展開される場合もある。そこでは、色々なものがさまざまな形で「死」ぬ。心において「死」のイメージは何を意味するのだろうか。「死」のイメージには何が入っていて、どのように展開し、変容しうるのだろうか。こうした点について、事例を通して検討したい。

<事例募集>

6. 参加・発表申し込みについて

WEBによる参加・事例発表申込方法

【参加申込】

当会ホームページ(<http://www.sandplay.jp/training.html>) および右記 QR コードの申込フォームよりお申し込み下さい。申し込みが完了しましたら、自動返信メールが送信されます(※パソコン、スマートフォン対応)。自動返信メールが届かない場合は、日本箱庭療法学会全国研修会事務局(training_jast@sandplay.jp) までお問い合わせ下さい。



【秘密保持に関する誓約書の提出について】

参加者の皆様に事例発表内容に関して「秘密保持に関する誓約書」の提出をお願いしております。誓約書をご提出いただけない場合は、大会・研修会への参加をお断りすることになります。また、誓約内容に違反された場合、大会参加資格の停止、研修会参加資格の停止等の措置をとらせていただきますこと、ご了承くださいませようお願いいたします。

誓約書の提出方法は、参加申込完了後に誓約書フォームへの入力画面に移動しますので、内容をご確認いただき、必要事項にご記入ください。参加申込時に提出できなかった場合は、右記の「QRコード」の入力フォームにご記入いただき提出をお願いいたします。



【事例発表申込】

上記と同様の申込フォームよりお申し込みいただけます。事例発表を「希望する」にチェックし、申込フォーム上にある<事例概要記入シート>にご記入の上、別途メール添付で日本箱庭療法学会全国研修会事務局(training_jast@sandplay.jp) までお送りください。参加申込締切後、事例発表の可否について、事務局よりご連絡いたします。

※事例発表者は原則オンサイトでの参加となります。

※<事例概要記入シート>は、当会ホームページからもダウンロードしていただけます。

※ **事例発表申込締切：2022年6月20日（月）【必着】**

※ **参加申込締切：2022年7月4日（月）【必着】**

- ・お申し込みは、原則として先着順とさせていただきます。
- ・分科会コースの通知はおこなわず、お申し込みいただいた分科会で受付けさせていただきます。
- ・定員となった分科会より締め切らせていただきます。希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

7. 参加費振込みについて

- ・自動返信メールを受領後に、以下の口座へ参加費をお振込みください。

＜郵便局・ゆうちょ銀行から振り込まれる場合＞

振込先： 00900-8-233788

加入者名： 一般社団法人日本箱庭療法学会研修委員会

＜他金融機関から振り込まれる場合＞

銀行名： ゆうちょ銀行

店番： 099

預金種目： 当座

店名： O九九店（ぜろきゅうきゅう店）

口座番号： 0233788

- ・振込される際に、自動返信メール内に記載されている【受付番号】をお名前の前に必ずご記入のうえ、お手続きください。（例：8528 ハコヅカロウ）
- ・振替用紙を使用される場合、通信欄には「2022年度第1回全国研修会参加費」と自動返信メール内に記載されている【受付番号】とお名前をご記入ください。（例：8528 ハコヅカロウ）
- ・納入された参加費のご返金はできませんので、予めご了承ください。

※ **参加費振込締切：2022年7月6日（水）**

8. 研修ポイントについて

全体会、分科会の両方に参加した方には、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規程別項」第2条(3)「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、受講者には2ポイント、分科会での事例発表者には4ポイントが付与されます。参加証が研修証明書の代わりになりますので、参加証をご希望の方は申込時に「参加証の発行について」の項目で【希望する】にチェックを入れてください。

9. 参加証について

オンサイトで参加された方には、当日受付にて参加証をお渡しいたします。

オンラインで参加されて参加証をご希望の方には、研修会終了後、参加されたことを確認のうえお送りいたします。

10. 会場案内

京都駅よりJR嵯峨野線（山陰線）1駅
丹波口駅下車 西へ徒歩5分

※その他のアクセスについては、
京都リサーチパークホームページを
ご参照ください。

(<https://www.krp.co.jp/access/>)

11. 研修会に関するお問合せ先

一般社団法人日本箱庭療法学会
全国研修会事務局

E-mail : training_jast@sandplay.jp

